



1



3



2



4



5

1 1月8日。支笏湖温泉旅館組合は、水質日本一を誇る支笏湖の水をたたえたスパークリングワイン《シコツブル》を発表しました。ワイン越しのラベルの裏には、水に咲く花《チトセバイカワ》の写真が浮かびます。

2 1月10日。市の救急隊員と小学校の外国人指導助手が、そなえらるで多言語対応訓練を初めて行いました。翻訳スマートフォンアプリやコミュニケーションボードを駆使した新しい訓練には、非番の隊員も大勢参加し、熱心に見学しました。

3 1月13日。千歳アイヌ協会の方々に新年の伝統儀式《アシリパノミ》が蘭越生活館で行われました。炉への捧げ物などで敵方に儀式は営まれ、一年の幸福をお祈りしました。

4 1月26日。現役自衛官や企業・団体が集うボランティア「スノーバスターズ」が、高齢者が多い市営住宅周辺で除雪作業を行いました。12回目を迎えた今年の参加者は約700人。まちに一体感が生まれる行事です。

5 1月26日。開幕2日目の千歳・支笏湖水濤まつり会場で、空路でつながる都市の親善使節団による《フラワープレゼン》が行われました。写真は姉妹都市・指宿市の菜の花。極寒の地に春の香が漂う瞬間でした。

■ 1月24日の夕方、人だかりのない幻想空間を写そうと、氷濤まつりのフレイオープンに足を運んだが、現地はまさかのホワイトアウト。氷像製作者は、珍しいですねと語るが不思議と笑顔だ。26日、再び訪れた会場で、水像の雪下ろしに汗を流す製作者を目にしたが、やはり笑顔だ。観光客を前に姿勢を崩さない人がいる。水像群が見事な理由だ。

■ 取材の道中、千歳川沿いでオシロフシを発見し、おもむくにはシャッターを切ったが望遠が足りず微妙な写真になってしまった。次の日の新聞の一面には千歳に飛来したカッコいいオオワシの写真。別の日には苫小牧でタンチョウが撮影された写真。「拝啓 関係長：千歳でタンチョウの写真が撮れたら広報の表紙でお願いします。」

■ 今月の表紙
千歳は雪が少ない分、冷え込みが厳しいという話を聞きます。ですが、幼稚園の園庭では、雪まみれに遊ぶ子どもたちの姿が、鼻水を凍らせながら「楽しい」と叫ぶ子どもの笑顔に、生きていることの力強さを教わります。



1月22日/千歳第2幼稚園園庭の築山で